

議員活動の目標（公約）

議員活動の自己評価

この「議員活動の目標（公約）」は、2年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

目標期間:令和元年 8月～令和3年 7月

目標期間:令和元年 8月～令和3年 7月

所属委員会・役職名	在職年数	氏 名	年齢
総務文教常任委員会委員 広報公聴常任委員会委員長	6	高橋 亨 一	72

評価の分類:○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

項 目	具 体 的 な 目 標 項 目	評 価		評価の結果となった具体的な理由
		取組みの 評 価	結果の 評 価	
1. 行政分野の取り組み	町民の生活が第1に、町民目線で町民との会話に沿った政策提言に	○	○	3団体との意見交換のみでしたが、多くの町民との会話、意見を行うことがコロナ禍でできなかつたのが残念です。政策提言に結び付けられた。
	取り組んでいきます。町の将来を考え住みやすいいいでを！			
2. 財政分野の取り組み	財政の健全化に取り組み財源が乏しい中 住みやすい町づくりが出	△	△	住みやすい町づくりのため、町民の足となる道路等の整備にまだまだ努力する必要があります。特に消雪道路の再整備等に。
	来る様に努力する。			
3. 経済分野の取り組み	若者の町内雇用の促進と住居整備を。	△	△	農地を守るために基盤整備が必要。地域の農家の意向調査を行い、改良区の方との話し合いを行うことができたが、まだ実行に至っていない。
	地域の農業と農地を守り農業振興に力を入れていきます。			
4. 福祉分野の取り組み	少子・高齢化社会の対策・対応に努め、人口減少の緩和に努力して	△	▲	最大の問題である人口減少を緩和する努力が出来てない。少子高齢化対策・対応に努力する必要がまだまだです。
	行きます。			
5. 教育分野の取り組み	若いおかあさんが安心して子育てができる環境に努めて行きます。	△	▲	コロナ禍の中で子供の貧困が増加し、格差が広がっている。まだまだ教育環境は努力が必要です。
6. その他の取り組み	・ 将来の町いいでを目指すために新規就農、農家の後継者育成と支援を推進します。	△	△	・ 農家の後継者、新規就農者等の支援の推進はまだまだ努力が必要です。
	・ 農地の基盤整備を推進して行きます。			・ 基盤整備の推進は、行ったものの実行にはまだまだですが、スマート農業(ドローンによる農作業)に推進していく。
	・ 自然を生かした観光事業と商店の活性化に力を入れて行きます。			・ 観光、商店の活性化の努力が不十分です。